

小・中・高等学校等における起業体験推進事業事例

京都府教育委員会

取組概要

- 小学校の推進校においては、地域や自分たちで見出した課題に対して最適解を考えさせる「課題解決型の学習」を実施した。
- 中学校の推進校においては、地元企業や市役所・町役場等と連携し、当該企業等が抱える「正解のない問い」に対して最適解を考えさせる「課題解決型の学習」を実施した。
- 高等学校の推進校においては、地元企業の方を講師として招聘し、生徒が文化祭で実施するビジネスの事業計画書の作成や内容精査、プレゼンテーション技能の指導などのサポートを受けながら、「魅力ある事業で実現可能な内容」を探究する「課題解決型の学習」を実施した。

モデルの構築（研究指定校におけるモデル）

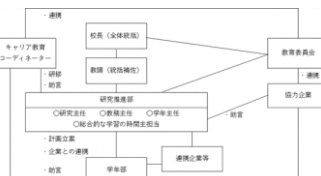
【小学校】

○学習の進め方

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学習の進め方	課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定	課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定	課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定	課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定	課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定	課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定 課題発見・課題設定

【中学校】

○組織体制（例）



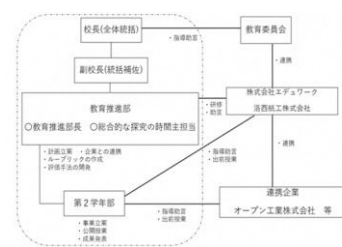
「きょうと明日へのチャレンジコンテスト」での発表の様子

○学習の進め方（例）

内容	実施時期	留意点等	備考
学習の進め方の確認	学年	1	
課題発見・課題設定	学年	2	
課題発見・課題設定	学年	3	
課題発見・課題設定	学年	4	
課題発見・課題設定	学年	5	
課題発見・課題設定	学年	6	
課題発見・課題設定	学年	7	
課題発見・課題設定	学年	8	
課題発見・課題設定	学年	9	
課題発見・課題設定	学年	10	
課題発見・課題設定	学年	11	
課題発見・課題設定	学年	12	
課題発見・課題設定	学年	13	
課題発見・課題設定	学年	14	
課題発見・課題設定	学年	15	
課題発見・課題設定	学年	16	
課題発見・課題設定	学年	17	
課題発見・課題設定	学年	18	
課題発見・課題設定	学年	19	
課題発見・課題設定	学年	20	
課題発見・課題設定	学年	21	
課題発見・課題設定	学年	22	
課題発見・課題設定	学年	23	
課題発見・課題設定	学年	24	
課題発見・課題設定	学年	25	
課題発見・課題設定	学年	26	
課題発見・課題設定	学年	27	
課題発見・課題設定	学年	28	
課題発見・課題設定	学年	29	
課題発見・課題設定	学年	30	
課題発見・課題設定	学年	31	
課題発見・課題設定	学年	32	
課題発見・課題設定	学年	33	
課題発見・課題設定	学年	34	
課題発見・課題設定	学年	35	
課題発見・課題設定	学年	36	
課題発見・課題設定	学年	37	
課題発見・課題設定	学年	38	

【高等学校】

○組織体制



○学習の進め方

- 1 学期 企業との事前協議
経営者講話・交流会
個人でビジネスアイデア立案
・事業計画書作成
外部コンテストへ応募
- 2 学期 文化祭出店ビジネスの計画書作成
協力企業から出資を受け事業を実施
決算・振り返り、交流会に向けた計画書作成
- 3 学期 計画書の修正、新規アイデア検討
講座内発表会で相互評価
校内成果発表会で代表発表で
活動を発信

普及するための取組

- 小・中学校では、成果発表イベント「きょうと明日へのチャレンジコンテスト」を開催し、域内の学校に対し、優れた取組の普及を図った。
- 高等学校では、京の高校生探究パートナーシップ事業「京都探究エキスポ」で、取組について高校生、中学生、教育・経済関係者など幅広い層を対象とし、ポスターセッション形式で発表を行った。

本事業による成果

- 中学校では、取組後の生徒アンケートより、基礎的・汎用的能力が身に付いたと実感していることが分かる。
- 「課題解決型の学習の取組で付いた力」・考えを広げたり、いろいろな視点で物事を見る力・筋道を立てて取り組む力・自分の意見を伝える力・色々なことを知り、分からないことについて調べようとする力・人と協力する力・インターネットに頼らずに考える力・納得いくまで調べる力・「なぜ？」と思い、その疑問を解決しようとする力
- 府学力調査でも、小・中学校ともに非認知能力・学習方法の変容が見られた。
- 高等学校では、自身の考えをアウトプットするための話し方・プレゼンの仕方が聞き手の視点を意識できるようになったことで、より説得力、論理的思考力が向上し、人前で話すことへの抵抗がなくなった。